

鹿児島県工業倶楽部通常総会
環境問題に取り組む
新理事抱負
令和3年度九州地方発明表彰
SDGs



祝 世界自然遺産登録 1周年

奄美大島世界遺産センター
(奄美市住用)
7月26日オープン予定





公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部通常総会

◆日時 / 令和4年6月1日(水) ◆会場 / 城山ホテル鹿児島(ルビー)



岩元 正孝会長



藤本 徳昭副知事(鹿児島県)



佐野 輝学長(鹿児島大学)

令和4年度通常総会が開催され、令和3年度事業報告・決算についての承認、役員の変更の承認及び令和4年度事業計画・収支予算についての報告がなされました。今回の役員改選においては、初めて理事を募り、新たに4人が承認されました。今後、新たな息吹をもたらすことが期待されます。

総会後は、鹿児島県商工労働水産部の平林部長が「地域の中小企業等の『稼ぐ力』の創出・向上について」という演題で講演され、生産性や付加価値の向上、産学官が連携した技術開発、また、県が取り組む各種事業についてご紹介いただきました。

また、会員企業の(株)サナスの吉元氏から「サナス型リサイクルループの実現に向けて～サツマイモ基腐病に対する取組等について」、鹿児島大学名誉教授の門氏から「鹿児島大学と地元企業の連携で目指す次世代鹿児島」、上海金天知識産権代理有限公司日本事務所の村田所長から「海外進出支援」と題したプレゼンテーションが行われ、盛会のうちに終了しました。



議長
上田平 重樹氏



平林 孝之氏
(鹿児島県商工労働水産部長)



吉元 寧氏
(株式会社サナス開発研究部)



門 久 義氏
(地域資源活用プラザ会長・
鹿児島大学名誉教授)



村田 秀博氏
(上海金天知識産権代理有限公司
日本事務所長)



環境問題に取り組む



「サツマイモ基腐病に対する健全苗供給体制の構築」

株式会社サナス

当社は1936年鹿児島県下7工場で甘藷澱粉(サツマイモ澱粉)製造を生業として創業しました。サツマイモ澱粉は創業以来の製品です。また、戦後間もない1948年からサツマイモ澱粉の特性を生かしたはるさめを製造しています。

そのサツマイモが基腐病により未曾有の危機に瀕しています。サツマイモは当社にとって大事な原料の一つであり、昨年度から社内外の垣根を超えた新たな取り組みを開始しました。サツマイモ栽培は苗を育成する苗床、育った苗を植える圃場に大別されます。現状では、苗床と圃場いずれにおいても基腐病が発生し、負の連鎖がやまない状況に陥っています。そこで、我々は苗床に特化した取組みを検討しました。具体的には、当社製造工程で発生する「糖含有珪藻土」を用いた苗床の土壌還元消毒(環境に優しい土壌消毒法)です。この消毒法が基腐病に効果を示すことは、国の研究機関でも認められています。

他方、種芋の蒸熱消毒の有効性を実機レベルで明らかにしました。この二つの組み合わせで、苗床で基腐病を一旦リセット出来ることが明らかとなり、現在、公的研究機関と連携し県内各地で実証実験を行っています。



糖含有珪藻土による還元消毒



健全な苗床の様子



蒸熱処理の効果(右が処理後)

「焼酎粕の有効利用」

株式会社栄電社

皆さん『焼酎粕』をご存じですか。焼酎を製造するとき焼酎の約2倍の量が発生する液体で、酒造メーカーは費用を支払って処分しています。

そんな厄介者の焼酎粕ですが、その中にはビタミンE、ポリフェノール、アミノ酸、食物繊維など“有用な成分”がたくさん含まれているのです。

栄電社はそこに注目し、飼料や肥料として有効利用できないか研究し、牛、豚や魚の飼料に少量混ぜて与えることで成長促進や体質改善などの“サプリメント的な効果”があることを確認しました。製品化にあたっては、飼料や肥料としての使い易さを考慮し「粘性の除去」や「常温での長期保存を可能」とする技術開発を行い、特許を取得しています。現在、始良市にあるミニプラントで年間約20トンの製品を製造しています。

そのほか、弊社では、畜産廃棄物を活用した小型バイオマス発電にも取り組んでいます。

原料や飼料価格の高騰に直面している酒造事業者や農畜産事業者の皆様のお手伝いをしながら、鹿児島県の『農畜産物のブランド化』に寄与したいと考えています。



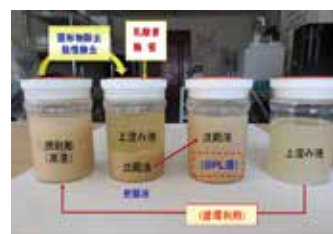
ミニプラント(始良市)

焼酎粕(原液)

調整後のろ過状況



高粘性除去後の状況



処理過程ごとの状況



田中 寛 理事
((株)タナカサトル
技術支援代表取締役)

主に製造業様向けに生産性向上を支援する仕事をしており、従業員の皆様が自主的にやりがいをもって働くことや、問題のを見つけ方、解決方法をしくみ化して数値を伴った業務改善をすることに重点をおいています。

現在、労働人口の減少が進み人手不足が深刻化しており、採算状況も悪化傾向にあります。若手人材、外国人財の採用も厳しくなっていますし、設備投資、DX導入をするにも業務整理ができていないと多くは期待できません。日々生まれる問題を解決していく力が必要とされています。

また、仕事から、関西、関東での人脈があったり、鹿児島にないよいサービスも紹介していただいています。地元鹿児島の発展に向けて人もサービスもおつなぎしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



水口 毅 理事
(ウェイブ・アップ
システム代表)

弊社は研修(人材育成)コンサルタント企業でございます。これまで、「交流分析の理論」や「コーチングのスキル」、人事業務の相談・指導に関わってまいりました。競争激化が進む中で、企業活動や組織活動などチームとして機能することが求められる現場においては、人間関係に関わる諸能力の育成が、喫緊の課題となっております。そして現下の状況において、お互いの顔が見えづらいことになっており、今こそ基本的な「コミュニケーション能力アップ」の必要性が問われている時期かと実感しております。

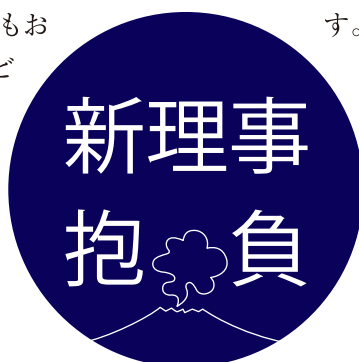
今回理事就任にあたり、多様な活動分野の方々との活動を通して、自分の特性を活かし地元鹿児島の産業や地域への貢献に、微力ながら関与できればと思う次第です。何卒宜しくお願い致します。



東 和博 理事
(東国際特許
事務所所長)

鹿児島県の産業振興と鹿児島県工業倶楽部の発展に尽くして参る所存ですのでご指導の程宜しくお願い申し上げます。

さて、私は東京で特許事務所と企業の知財部門に勤めた後、鹿児島市内に特許事務所を構えました。今年で十七年になります。事務所では海外の権利取得も行っています。仕事を通じて感じることは、鹿児島県内の産業を支える技術は全国でもトップレベルであるということです。少子高齢化を迎え、これからはITを含めた技術革新が鍵になると思います。私の抱負としては、鹿児島県工業倶楽部の活動を通じて、例えばスタートアップ企業の支援に取り組んでみたいと思います。また、鹿児島のブランド力向上の一環として、PR活動にも取り組んでみたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



米山 高兆 理事
(KAGOSHIMA
熱闘会議会長)

KAGOSHIMA熱闘会議は、県内地域づくりリーダー等約60名で組織され、これまで34年間活動しています。会の目的は「人材育成と地域の支援」で、人材育成や産業振興等に関する講演会や地域でのシンポジウムなどを定期的に開催しています。「ものづくり、人づくり、ふるさとづくり」を目指す工業倶楽部とは共通点も多いと思います。

私はその他にも、「日本の近代産業の先駆けとなった集成館事業」のボランティアガイドチームのリーダーや県トライアスロン協会理事、九州・沖縄地域づくり会議議長(会長)など多様な活動に取り組んでおりますので、工業倶楽部発展のため貢献できるのではと思っています。よろしく願いいたします。

令和3度 九州地方発明表彰 おめでとうございます。

会員企業のマトヤ技研工業(株)様、薩摩酒造(株)様、(株)エルム様が、
栄誉ある賞を受賞されました。謹んでお祝い申し上げます。

九州オープンイノベーションセンター会長賞

「センマイ洗浄機」(特許第6260810号)

マトヤ技研工業(株) 益留 福一 様

牛の第3胃・センマイは胃の内面にヒダが多数あり、そのヒダの間に食物残渣が塗りついており、従来は手作業で水をかけつつ、ヒダを開きながらヒダの間を一枚ずつ、洗浄していたため、作業者にかなりの負担がかかっていました。

本センマイ洗浄機の開発により、センマイを2～3分間できれいに洗浄することが出来るようになるとともに、モーターは、反転の負荷がかからないので、壊れることがなくなり、従来、5人で洗浄していた作業が2人で出来るようになるなど、大幅な人員削減と、コスト削減が達成できました。これまでに42台を販売しています。



鹿児島県発明協会会長賞

芋焼酎の製造方法(特許第5530231号)薩摩酒造株式会社

本坊 愛一郎 様 他7名

このたび令和3年度 九州地方発明表彰 鹿児島県発明協会会長賞を受賞したことは、まことに喜びに堪えません。

本発明は、「MUGEN白波を代表商品とする『土室糖化芋焼酎』に関わる特許」です。ご承知のように本格焼酎の根幹にあるのは、原料としてのさつまいもです。「土室糖化芋」とは、そのさつまいもを土の中で寝かせて熟成させて、甘みと香りを最大限に引き出す技術で、薩摩酒造では2014年に特許を取得しています。

この「土室糖化芋」をもとに、本格焼酎の無限の可能性を追求しようと、新しいフレーバーの開発や独自の蒸溜技術で実現したのが「MUGEN白波」です。論より証拠、まずは皆様も、どうかご賞味下さい。



奨励功労賞

株式会社エルム 代表取締役 宮原 隆和 様

県発明協会の副会長であり、高い独自の技術力で、我が国の知的財産のトップランナーとして活躍中であり、業績は国内外から評価されています。

「鹿児島から世界を相手に」をキャッチフレーズに、独自性の高い工業製品を作り続けてきました。中でも、「自動光ディスク修復装置」は、修復スピードと安定した修復技術が高く評価され、世界36か国で販売され、自動機については世界シェアの75%以上を占めています。

さらに、特許庁の特許制度や、経済産業局の知的財産推進に係る委員、県の知的財産計画策定へのご提言など、県内外のものづくりについて多大なご貢献をいただいております。

今後とも、鹿児島のものづくりへのご支援をお願いします。

「奨励功労賞」のご受賞、誠にありがとうございます。

(県工業倶楽部事務局)



「城山ホテル鹿児島島のSDGs全員参加の挑戦」

令和4年6月27日(月)に、開催された84プラザでは、城山観光(株)SDGs推進室長(人材開発部長)の安川あかね氏を講師としてお招きし、「城山ホテル鹿児島島のSDGs全員参加の挑戦」と題してご講演いただきました。

SDGsへの取組のきっかけ、2019年の「SDGs宣言」以降の従業員の皆様の取組、反響、そしてこの3月に(一社)日本ホテル協会主催の「社会的貢献に対する会長表彰」において「優秀賞」を受賞されたことなど、大変興味深く拝聴させていただきました。



「九州SDGs経営推進フォーラム」のご案内(九州経済産業局)

フォーラムは、産学官金のプラットフォームとして2020年2月3日に設立以来、会員は右肩上がりが増加し、現在は910の会員にご参加いただいております。

今年度を実施した会員向けアンケートでは、SDGs経営への理解と取組について「意味及び重要性を理解し、取り組んでいる」と回答した事業者は、62.8%(120/188者)となっており、前年から81者増加しました。今回のアンケート調査からも九州内におけるSDGsの認知度と取組企業が増加していることが分かる一方で、“業務が多忙でSDGsに手を付けられない”や“会社全体のSDGsに対する意識が欠如しているからSDGs経営が進まない”といった意見もいただきました。

本フォーラムでは、このような意見を踏まえ、①SDGsに関する情報の共有、②課題解決に向けた企業と自治体等の対話の場づくり、③民間企業と連携したSDGs経営支援等に取り組むことで、地域企業の持続的な企業価値の向上や地域課題・社会課題の解決による九州の持続的な発展を目指していきます。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご登録ください。(令和4年4月25日84プラザ講演)

(経済産業省 九州経済産業局 総務企画部 企画調査課 坂本)



TOPIC (事務局)

◆「かごしまMTPネットワーク」に参加／令和4年5月26日(木)

県警察本部の警備部公安課外事対策室が新たに立ち上げた「かごしまMTPネットワーク」に参加しました。産業界に係る構成員は、当倶楽部のほか、JETRO、県産業支援センター、(株)鹿児島TLOとなっています。

今後、外国への技術情報の流出防止に役立つ情報について随時、皆様にお伝えします。

◆「中小企業DX支援プラットフォーム連絡会議」に参加／令和4年6月27日(月)

デジタル技術やデータを活用したビジネスモデルを変革するDXに向け、企業の取組を総合的に支援するため、県が立ち上げた連絡会議に参加しました。企業における取組の現状、県の事業内容の説明がありました。今後、必要な情報を皆様に提供してまいります。興味のある方は事務局まで御連絡をお願いします。



◆「鹿児島県宇宙ビジネス創出推進研究会」に参加／令和4年6月30日(木)

全国で唯一2つのロケット打上げ施設があり、関係者の連携強化で、宇宙関連産業の成長力を本県経済に取り込める可能性を有しているとして、県が立ち上げた研究会に参加しました。県商工労働水産部長、ベンチャー企業SpaceBD(株)や、(株)IHエアロスペース、JAXAの関係者による講演等がありました。まずは関係者による「コミュニティづくり」、人と人のつながりが重要といったことが共通した話題となりました。

鹿児島県の健康と発展のために・・・

世紀産業株式会社 代表取締役社長 原口 美津子氏

もともと叔父が大手証券会社で働いていて、私も誘われ働くうちに株に興味を持つようになりました。厳しい世界ではありましたが、自分でも株をやるようになり、それなりの実績と成果をつくり、病みつきになっていきました。でも違う事をやりたいなと思い、3回ほど辞表を出しましたが、辞めさせてもらえず、結局定年まで働くことになりました。

●事業の実績をつくり育てる。

会社を辞めてから何かをしたいと思ったのですが、具体的にこれというのがなくて、フラフラしてたんです。昔から鹿児島の食には興味があったのですが、鹿児島の薬草にも興味を持つようになり、薩摩藩が400年前から研究していた漢方の原料植物についてまとめた江戸時代の書籍「質問本草」を見つけ、その中に記載されたある樹木に興味をもちました。それが「けせんの木」です。鹿児島の郷土のお菓子「けせん団子」を包んでいるのが、けせんの葉です。一般的にニッケ、シナモンと呼ばれる木のことで、昔は鹿児島県内のどこの家庭でも庭先に植えていたんです。

シナモンには冷えを取り、血の巡りをよくする成分が含まれていますから、冷え症や、そこからくる肩こり・関節痛・腹痛・下痢などの痛みにも効果が期待できます。これを現代風のハーブティーにできれば、みんなに親しまれる鹿児島の新しい特産品になるのではと思い、多くの方々の協力をいただき「鹿児島シナモンティー」として製品化しました。

●これからのこと・・・

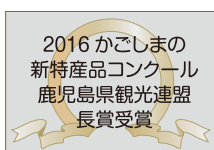
最初からシナモンだったわけではなく、いろんなご縁からシナモンになっていった形です。そこから展開して今は桜島大根を育て、製薬会社に毎年5トン出荷しています。最近鹿児島大学の先生が桜島大根に含まれるトリゴネリンに血管機能改善効果があることを発表して話題になりましたが、現在「桜島大根カプセル」というサプリを開発販売しています。これからも鹿児島の食材、シナモンと桜島大根を中心に健康に良い商品を作っていきたいと考えています。

ちょうど21世紀になる時に会社を立ち上げたので、世紀産業という社名にしましたが、さらに未来に向けて鹿児島の健康と食に役にたてたらと思っています。



霧島の山奥で育った有機無農薬のべにふうき紅茶と鹿児島県内で栽培されたシナモンをブレンド。カルシウム・鉄分・マンガンなど女性にうれしい成分が豊富に含まれており、健康維持・増進にも役立つと言われています。

桜島大根には、血管機能改善効果が注目されている「トリゴネリン」が多く含まれており、血管機能維持に良いとされる「サボニン」と腸内環境を整えると言われる「イヌリン」を含む菊芋を加え、一粒に凝縮したサプリメント。



鹿児島シナモン

鹿児島シナモンは、世紀産業(株)と鹿児島大学、仙巖園の共同マーケティング戦略商品です。

他に鹿児島シナモンを使ったお菓子も好評販売中です!

- ・黒糖シナモンバターサンド
- ・シナモンダクワーズ

世紀産業株式会社

鹿児島市下荒田2丁目30-5
TEL 099-812-1543 FAX 099-258-2655

《ご利用ください》

公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ再就職・出向等の

送出企業

お手伝いをしています

受入企業



産業雇用
安定
センター



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。
(ご利用は無料です)

- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー（有料）も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人
産業雇用安定センター
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

